

◆後期基本計画の施策・事業・目標指標の 実施状況の整理、評価

(1) 6つの目標と重点プロジェクト単位での評価

1 みんなで共に進めるしくみをつくろう

- ・施策については平成26年3月にまちづくり協議会条例を制定している。「市民主体のまちづくりの推進」に関する目標指数の達成度が低く、協議会活動の推進には人材育成や市民、企業、行政の連携等の課題を抱えている。
- ・「すべての人の人権尊重の推進」、「多文化共生のまちづくり」については、施策・目標指数ともにある程度達成されている。
- ・「男女共同参画の推進」は啓発や促進のための活動には取り組んでいるが、目標指数の達成には結びついていないため、更なる取組みが必要である。
- ・「情報ネットワークの構築」については、市タウンメールの活用は広がっているが、市民の関心や利便性を高めるためにはホームページの情報充実、情報通信技術の活用（開設）が必要である。

2 うるおいのあるまちをつくろう

- ・「環境の保全」や「循環型社会の形成」、「身近な公園・緑地の整備」については計画どおり進んでいる。環境ボランティアの宣言者数やごみのリサイクル率の向上等の目標指数の達成度が低いため市民が参加する活動への支援が必要である。
- ・上下水道や公園の整備など投資的施策は計画どおりに進んでいる。今後は、限りある財源を有効に活用して環境を保全することが重要である。

3 活気あるまちをつくろう

- ・「市街地・住環境の整備」や「道路網、河川の整備」は計画どおりに進んでいる。耐震診断および耐震改修については達成度が低い傾向にあるため、市民の理解が深まる施策の見直しが必要である。
- ・「公共交通の充実」に関する施策はほぼ計画どおりに進んでいるが、目標指数が達成できていない状況である。特にJR草津線については、三雲駅と石部駅舎のバリアフリー化への取組みは進んでいるが、複線化に向け今後ともJRと連携・調整を図りつつ進める必要がある。
- ・農林業、産業振興関連の施策については計画どおりに進んでいるが、目標指数は全般的に達成度が低い傾向にある。市民や企業との情報の共有化や連携した活動のための取組みについても検討が必要である。

4 ほっとする暮らしをつくろう

- ・「健康づくりの推進」に関して、健康に関する正しい情報提供や運動教室・生活習慣改善教室等の保健事業の実施については、計画どおりに進んでいる。市民の自主的な健康づくりについては、目標値において改善はしているが、目標値に達していないものもある。健康の土台となる生活習慣について子どもを含めた市民への啓発活動が重要である。

- ・「子育て支援の充実」については、目標指標の達成度が低いため、更なる保育サービスの充実が必要である。
- ・「危機管理体制の整備」や「安全な地域づくりの推進」に関する防犯教室、交通安全教室等の啓発活動に関する目標指数は概ね達成できている。火災発生件数、交通事故による死傷者数などの目標指数は、達成度が低い傾向にあるため検討が必要である。
- ・「障がい者の自立支援」や「高齢者の自立支援の充実」に関する目標指数はほぼ達成できている。今後は小規模多機能型居宅事業所などの地域での自立を支えるサービスを強化する必要がある。
- ・「地域福祉の推進」については、まちづくり協議会と連携した取り組みが重要である。

5 いきいきとした暮らしをつくろう

- ・「人権尊重の推進」や「若者の社会参画」、「社会教育の推進」、「スポーツの振興」、「文化芸術活動の振興」に関する施策は、計画どおりに進んでいる。
- ・「就学前教育・学校教育」については、学校施設の耐震整備以外の施策は計画どおり進んでいる。全小中学校の耐震整備については、石部小学校は平成 28 年度末の完成を目指し、甲西中学校は今後改築工事に取り掛かる予定である。学校教育については、教職員の研修に取り組んでいるが、校内暴力の削減等の達成に結びついていないため、さらに効果的な対策の検討が必要である。
- ・「歴史文化の継承と活用」については目標指数が達成できていないため、歴史民俗資料館の展示の充実や関係機関との連携が課題である

6 明日を拓くしくみをつくろう

- ・「効率的な行財政運営の推進」は、行財政改革に取り組み、行政改革大綱および実施計画に基づいた行政改革は一部遅延が見られるものの、概ね進んでいる。しかし、公共施設の更新など投資的事業等がかさんだことにより、財政の健全化が達成されなかった。
- ・「自立的な地域経営の推進」については、想定していた活用方法が困難となったことから、総合特区制度は活用を断念している。
- ・「広域連携の推進」については、栗東市、野洲市、竜王町の各市町との広域的な協議会を通じて情報共有等を進めており、今後は共通する課題で連携できるよう広域連合や広域自治に関する検討も必要である。

重点プロジェクト 人と地域とまちが輝く3つのプラン

- ・湖南の三駅プランは、駅のバリアフリー化については着実に進んでいる。JRの複線化に向け今後ともJRと連携・調整を図りつつ進める必要がある。
- ・湖南の三景プランは、積極的な観光情報の発信により湖南三山の普及は進んでいる。
- ・湖南の三業プランは、「こなんマルシェ」等により農林業や伝統工芸と観光との連携が進んでいる。今後とも、これらの取組みをさらに推進するとともに、新たな企業の誘致や起業の促進が課題である。